



MESSAGE NOTES

神の力による慰め

エレミヤ書 32:40-41

ブラウン・ジェームズ

1. 力ある約束

エレミヤ書 32:40-41 わたしが彼らから離れず、彼らを幸福にするため、彼らととこしえの契約を結ぶ。わたしは、彼らがわたしから去らないようにわたしに対する恐れを彼らの心に与える。わたしは彼らを幸福にして、彼らをわたしの喜びとし、真実をもって、心を尽くし思いを尽くして、彼らをこの国に植えよう。

これは神様から私たちへの直接の約束です。イエス様を受け入れることによって、神様のすべての約束が私たちにとって真実のものとなります。神様は私たちの自由意志の上に働かれるのです。どんな状況でも私たちが何を選択するかを知っておられます。神様の約束は必ず成就します。そして、私たちに対する神様のご計画を妨げるものは何もありません。

2. あらかじめ選ばれ、定められていた

エペソ人への手紙 1:11 またキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となりました。すべてをみこころによる計画のままに行う方の目的にしたがい、あらかじめそのように定められていたのです。

私たちが神様に従うことを決める前から、神様は私たちを選んで下さいました。私たちの心にまず神様の呼びかけがなければ、誰もイエス様のもとに来ることはありません。今イエス様との人生を歩んでいるあなたは、前もって神様に選ばれていたのです。世界の創造より以前に、神様に従うように定められていたのです。そして神様はすべてのことを働かせて、あなたにとって益としてくださいます。

3. 心配なし

マタイの福音書 6:26-27 空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養ってくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。

心配する代わりに、神様の主権を信頼するよという教えです。空の鳥を養うことができる神様なら、私たちのことも養うことができます。そうすれば平安が得られます。礼拝とは、神様の偉大さに目を向けることです。自分では制御できない状況にあるとき、すべてを支配しておられる方に目を向けるのです。心配するのではなく、礼拝することを選ぶべきです。